

- 1) カラーは**グレースケール (K100%)** で文字、パス、オブジェクトを作成
- 2) 文字とパスは全てアウトライン化してください ※外形線はアウトライン化しないでください。
- 3) 名入れ範囲図の外形線は消さないでください
- 4) ガイドラインの内側が彫刻可能範囲となります
- 5) 画像データはそのまま彫刻ができない為、ライブトレース等の機能を使用しパス化してください



ご確認ください K100%以外のデータは彫刻されませんので、ご注意ください。

線の太さがパス上で 0.65pt 以上の太さになるよう調整してください (0.65pt 以下は彫刻できません)

データ調整例①

五

赤色の横棒が 0.65pt 以下の太さのため、綺麗に彫刻が入りません。



五
五

文字を太らせる

太めの書体に変更する

データ調整例②

文字の隙間が 0.65pt 以下の場合

菅 ▶ 菅

細めの書体への変更をおすすめします。

隙間が 1pt 以下の太さの為、潰れます。



線を太らせる & 太い書体に変更

黒色のぬき部分 (白色部分) はパス上で 1pt (0.35mm) 以下の太さにならないよう調整をお願い致します。

文字は名入れ範囲図のガイドライン内に収まるようレイアウトください

2025
President
Award
五十嵐 真護 殿

2025年3月22日

Sugahara

代表取締役社長
菅原 健一



Eco Seed co.,ltd.



Eco Seed co.,ltd.



Eco Seed co.,ltd.

カラーのロゴ & マーク
イラスト等は黒 1 色に変換

*グラデーション表現は不可となります。
*画像データはパス化する必要があります。

表面より外面レーザー彫刻

彫刻面の指示 (表面か裏面か)

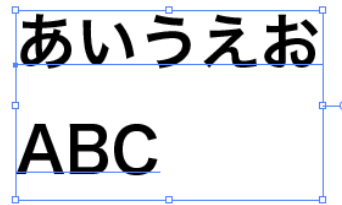
文字のアウトライン化について

フォント（図1）を、パスで構成されたオブジェクト（図2）に変換することです。文字のアウトライン化をすることで、フォントの情報が破棄され文字が図形化されます。これにより、例えば「A」というフォントを使用して作成したデータを、「A」というフォントがインストールされていない別のPCでデータを開いた際にも、文字の形が変わってしまう事を防ぐことができます。

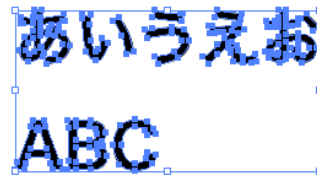
一度アウトライン化したフォントは、元に戻すことができません。アウトライン化した場合は必ず別名保存して、手元にアウトライン前のデータを保管されることをお勧め致します。

文字が選択された状態で、メニューバーから「書式」→「アウトラインを作成」をクリックすることで文字がアウトライン化されます。（図3）

文字を太らせた場合は、「文字のアウトライン化」の後に「パスのアウトライン化」もして頂きますよう、お願い致します。



（図1）フォント



（図2）パスで構成されたオブジェクト



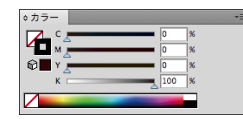
（図3）アウトラインを作成

パスのアウトライン化について

線オブジェクト（図4）を、塗りのオブジェクトに変換することです。パスのアウトライン化をすることで、パスの情報が破棄されパスが図形化されます。（図5）

一度アウトライン化したパスデータは、元に戻すことができません。アウトライン化した場合は必ず別名保存して、手元にアウトライン前のデータを保管されることをお勧め致します。

パスが選択された状態で、メニューバーから「オブジェクト」→「パス」→「パスのアウトライン」をクリックすることでパスがアウトライン化されます。（図6）



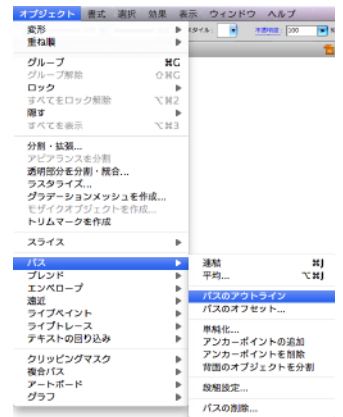
（図4）線オブジェクト

線：K=100% となっています。



（図5）パスのアウトライン化後

（線：K=100% が、塗り：K=100% に変換されます。）

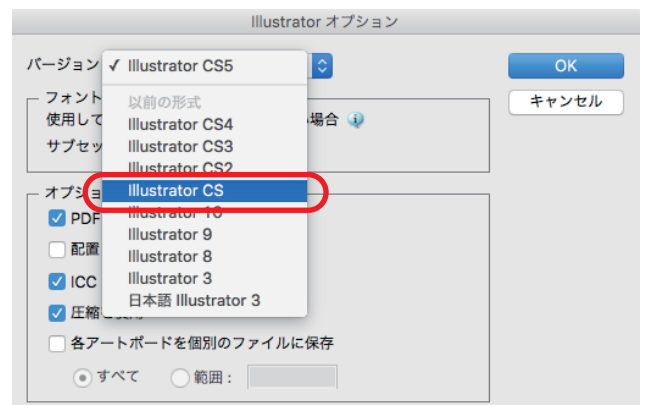


（図6）パスのアウトライン

バージョンを落としての保存について

バージョンの高いイラストレーターでデータを作成頂いた場合、弊社のパソコンでご入稿頂いたデータを開けない場合がございます。そのためご入稿頂くデータのバージョンを「Illustrator CS」に落として保存・ご入稿頂きますようお願い致します。

ファイル▶別名保存をクリックし、ファイル名を入力後、保存ボタンをクリックすると Illustrator オプション画面が表示されます。（図7）最上段のバージョンと書かれている右側のプルダウンから「Illustrator CS」を選択し、「OK」ボタンをクリックすると、イラストレーターのバージョンをCS1に落としたファイルを保存することができます。



（図7）Illustrator オプション画面

画像のパス化について

画像データは、そのままの状態では彫刻ができない為 画像（図8）を、パスで構成されたオブジェクト（図9）に変換する必要があります。イラストレーターのライブトレース機能や、ペンツールで直接トレース頂き、データのご作成をお願い致します。また、カラーデータの場合は合わせて、K=100%の色設定に変更をお願い致します。



（図8）画像



（図9）パスで構成されたオブジェクト